

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × AsReader®  Digital
Transformation

2024年8月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2024年4月12日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

第一部：当社取り組みの説明

- (1) 既存主力製品群
- (2) 新製品群

第二部：第18期（2024年8月期）第2四半期業績報告

- (1) 連結業績
- (2) セグメント別業績
- (3) 地域別業績
- (4) K P I
- (5) 株式関係

第三部：その他企業情報

- (1) 業績予想修正
- (2) 直近のリリース情報
- (3) 直近の展示会出展予定

第四部：AsReader Conference 2024開催のお知らせ



第一部：当社取り組みの説明



AsReader事業

バーコードリーダー

- ・市場規模は316億円(2022年度 国内。前年対比1.3%増)
((社)日本自動認識システム協会調べ)
- ・大きな拡大は見込まれないが、大きな縮小も見込まれない市場

RFIDリーダー/ライター

- ・市場規模は129億円(2022年度 国内。前年対比64.5%増)
((社)日本自動認識システム協会調べ)
- ・今後、RFIDタグの低価格化をきっかけに、導入業界の拡大、市場規模の拡大が見込まれる市場

赤外線通信リーダー

- ・自動販売機業界向けのリーダー
- ・新規の自動販売機には通信機能が搭載され、リーダーが不要になる可能性あり。置き換え完了までの20年間の間に販売するリーダー

AsReader事業の戦略

■製品特性に応じた営業展開

- ・バーコードリーダー、赤外線通信リーダーは既にお客様で導入されているハンディターミナルの置き換え商材。お客様の機器入替時期をリサーチしておき、タイミングを見計らい弊社製品への置き換え提案・受注獲得を行い、シェア拡大を目指す。
- ・RFIDリーダー/ライターは、お客様の業務改革を伴うケースが多い商材。
導入検討業務を適切に理解し、業務改善コンサルタントとしての役割も担いつつ提案・受注獲得を目指す。

■社用スマートフォン導入台数拡大に伴う商機拡大

- ・フューチャーフォンの製造販売台数減少に伴い、お客様の社用携帯電話のスマートフォン化が進んでいる。
→弊社製品導入時のスマートフォンコスト部分が導入コストから除外(埋没原価化)。導入障壁が下がる。
- ・大手携帯キャリアが前述の動きを見せており、導入時に弊社製品を推薦いただき、弊社製品の販売促進を実施。



システムインテグレーション事業

AsReader事業を支援

- ・各種リーダー類「AsReader」を活用するシステムやアプリを開発
- ・モノ認識技術を活用した新システム
- ・システムコンサルティング

お客様に合わせたシステム開発

- ・お客様の要望をしっかりとヒアリング
お客様の「こうしたい！」を実現します

システムインテグレーション事業領域の戦略

■ 製品開発会社だからできる、きめ細やかな開発、保守メンテナンスサービス

- ・AsReaderの製品開発部門との連携で、AsReaderをフル活用するシステム、アプリを開発します。
- ・しっかりとお客様のニーズをヒアリング。
極め細やかなシステム、アプリを開発し、その後の保守メンテナンスサービスも準備。

■ お客様のDX、BXを促進

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)はもちろん、お客様の業務フローからビジネスフローのヒアリングを行い、BX(ビジネストランスフォーメーション)の促進のお手伝いをします。



新製品群

画像認識技術ソリューション

- ・画像認識技術研究の深耕
- ・実社会で活用できる製品への落とし込み
- ・市場への投入、拡販の実施

お客様の「したい！」を実現

- ・お客様の「こうしたしたい！」 × 当社の画像認識技術 = DX・BX
- ・既存製品、新製品を拡販しながら、更なるニーズを取り込む

新製品・サービス事業領域の戦略

■ 製品開発会社だからできる、きめ細やかな開発、保守メンテナンスサービス

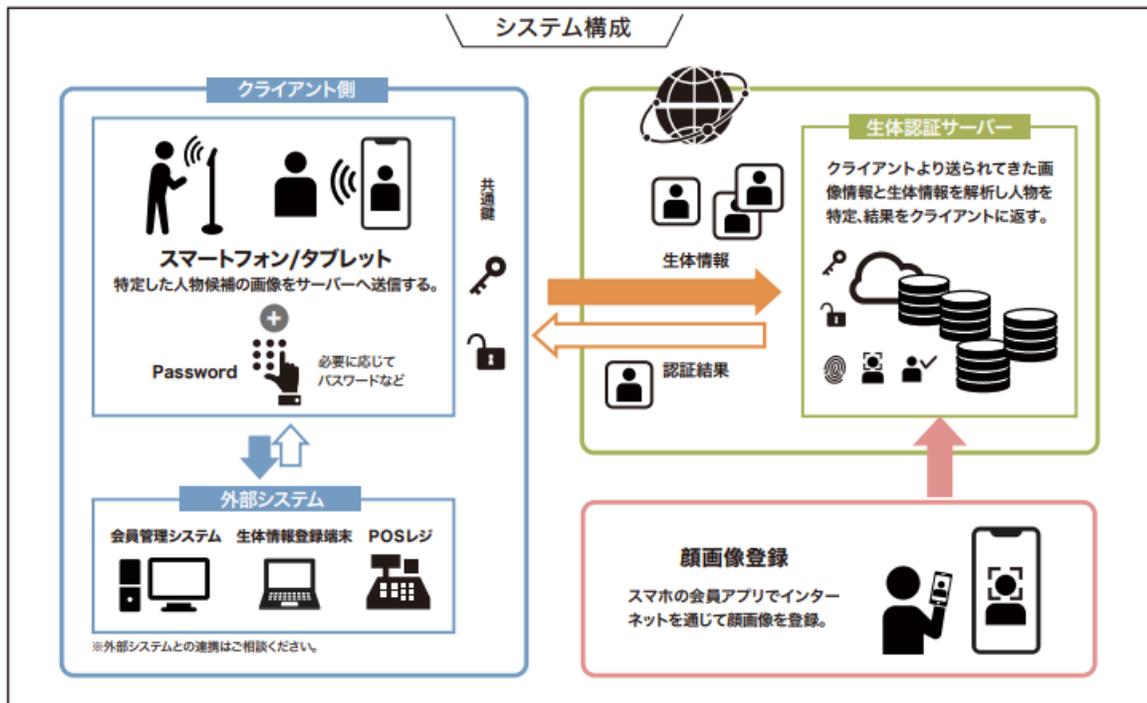
- ・AsReaderの製品開発部門との連携で、AsReaderをフル活用するシステム、アプリを開発します。
- ・しっかりとお客様のニーズをヒアリング。
極め細やかなシステム、アプリを開発し、その後の保守メンテナンスサービスも準備。

■ お客様のDX、BXを促進

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)はもちろん、お客様の業務フローからビジネスフローのヒアリングを行い、BX(ビジネストランスフォーメーション)の促進のお手伝いをします。

顔認証 (AsReader One)

・顔認証での特定システムの技術 特許第7320887号



顔認証を応用した、スマートロック連携



左：SESAME / 右：撮影および認証装置

■ 顔認証システム AsReader One スマートロック ～AsReaderGoMA～

- ・顔認証システム AsReader One は、ID・PW 入力代わりに顔認証でログインなどを行うことができるシステムになります。
- ・CANDY HOUSE JAPAN 社との業務提携。CANDY HOUSE JAPAN 社の新製品 SESAMI5 と AsReader One の連携に時間がかかっておりましたが調整が完了。2024年8月期から本格的に販売を開始してまいります。BtoC、BtoB など多方面での販売を計画しております。
- ・通常の扉以外にも電子錠や自動ドアにも対応しております。

セミセルフレジ

・人追跡(画像認識)レジ技術 (特許第7262715号)



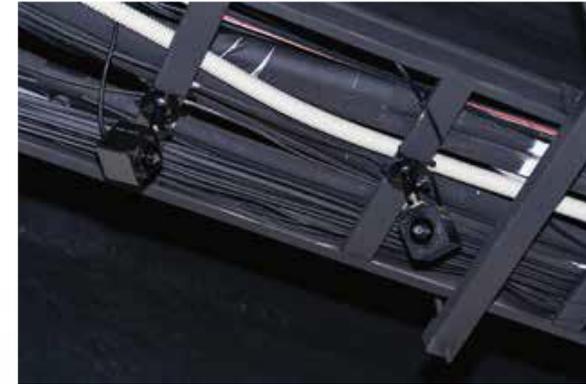
厨房端末



確定端末



クーポン・スタンプ端末



人追跡

重量センサー



オーダーディスプレイ



セルフレジ



自動音声

RFID

As Key Cube

鍵持出返却管理システム

鍵の管理に困っていませんか？

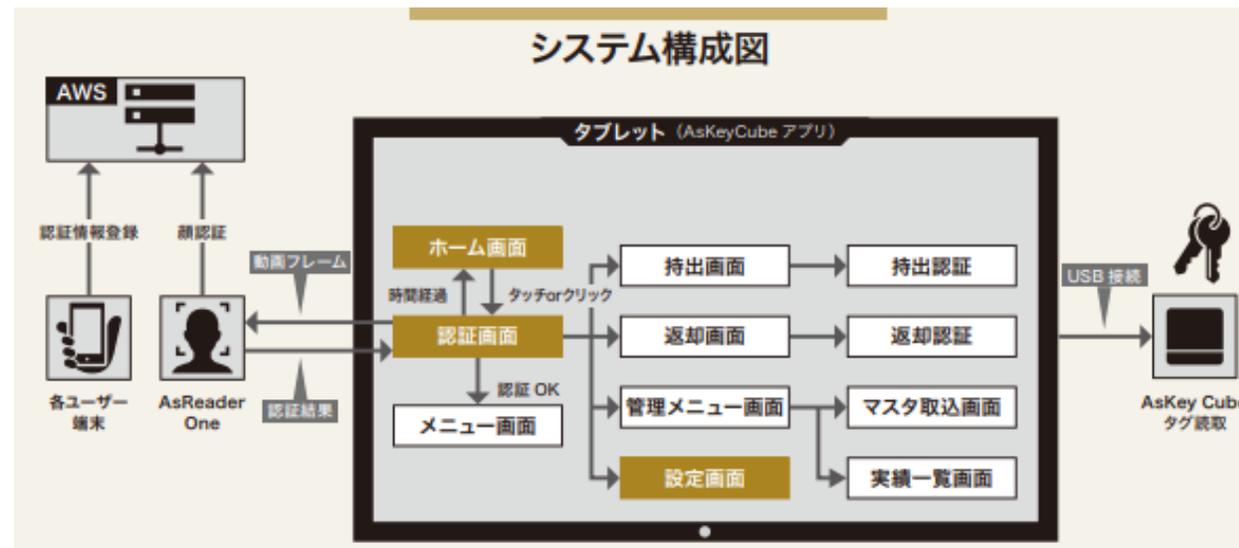
As Key Cubeで鍵の管理はおまかせ！

簡単！ 正確！ 確実！ コンパクト

- 顔認証で鍵を持ち出した人を特定
- RFタグを同時に一括して読み取り認識することで、鍵束単位で持出管理。
- 独自の技術で高精度読み取り。
- 不正持出検知も可能！



顔認証 + RFID



RFIDソリューションの拡販

- ・鍵管理として、新製品&新サービスの提供の開始（レジで実装している電波コントロール技術：特許第6469758号を応用）
- ・大手アパレル店舗のレジといった事例以外にも、人追跡のを組み合わせたレジや、製造業向けソリューションを展開
- ・大手出版社の書籍にRFIDが挟まれ、物品管理に向けた導入が始まりつつあり、今後の市場拡大に合わせて当社製品拡販を計画

第二部：第18期（2024年8月期）第2 四半期業績報告



(1) 連結業績



【損益状況】 2024年8月期第2四半期業績予想比

(百万円)

	2024年8月期 第2四半期 (業績予想)	2024年8月期 第2四半期 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,207	658	▲ 549	▲45.5%
売上総利益	438	196	▲ 241	▲55.2%
売上総利益率	36.3%	29.8%		
営業利益	11	▲ 160	▲ 172	—
営業利益率	0.9%	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	▲ 197	▲ 197	—
当期純利益率	0.0%	—		

■売上高

バーコードリーダー及びアクセサリー類、ハード保守、受託開発の販売が進みましたが、予定していた案件が上半期中に納品までいならず、当初の業績予想から549百万円減の658百万円の結果となりました。

多くの商談を抱えており、第3四半期以降で受注・納品を進め、通期業績予想の達成に向けて活動いたします。

■売上総利益

売上高が業績予想を下回ったこと及び商品評価損の計上に伴い原価率が悪化したことにより、業績予想から241百万円減の196百万円の結果となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の改善（主に人件費）があったものの、売上高及び売上総利益の減収減益があり、業績予想から172百万円悪化の▲160百万円の結果となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益

繰延税金資産の取崩を行ったことにより、業績予想から197百万円悪化し、▲197百万円の結果となりました。

(参考) 2024年8月期第2四半期前年同期比較

(百万円)

	2023年8月期 第2四半期 (前期実績)	2024年8月期 第2四半期 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	869	658	▲ 210	▲24.2%
売上総利益	308	196	▲ 111	▲36.3%
売上総利益率	35.5%	29.8%		
営業利益	▲ 38	▲ 160	▲ 122	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 12	▲ 197	▲ 184	—
当期純利益率	—	—		

■売上高

バーコードリーダー及びアクセサリー類、ハード保守、受託開発の販売が進みましたが、予定していた案件が上半期中に納品までいらず、前年同期比210百万円減の658百万円の結果となりました。

多くの商談を抱えており、第3四半期以降で受注・納品を進め、通期業績予想の達成に向けて活動いたします。

■売上総利益

売上高が業績予想を下回ったこと及び原価率が悪化したことにより、業績予想から111百万円減の196百万円の結果となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の改善（主に人件費）があったものの、売上高及び売上総利益の減収減益があり、業績予想から122百万円悪化の▲160百万円の結果となりました。

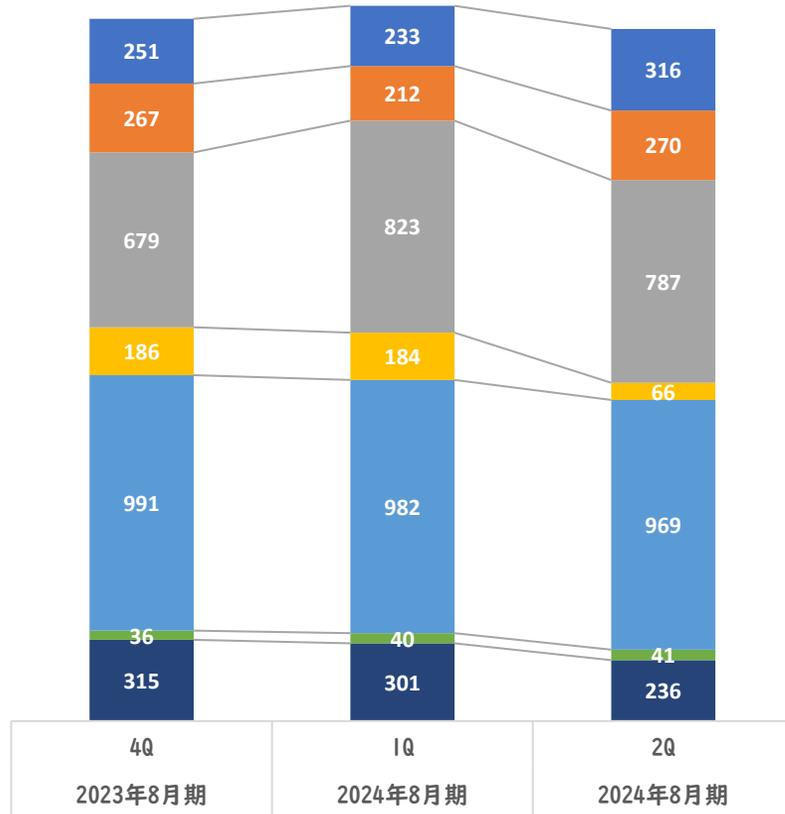
■親会社株主に帰属する当期純利益

業績予想から184百万円悪化し、▲197百万円の結果となりました。

【連結貸借対照表】 2024年8月期第2四半期

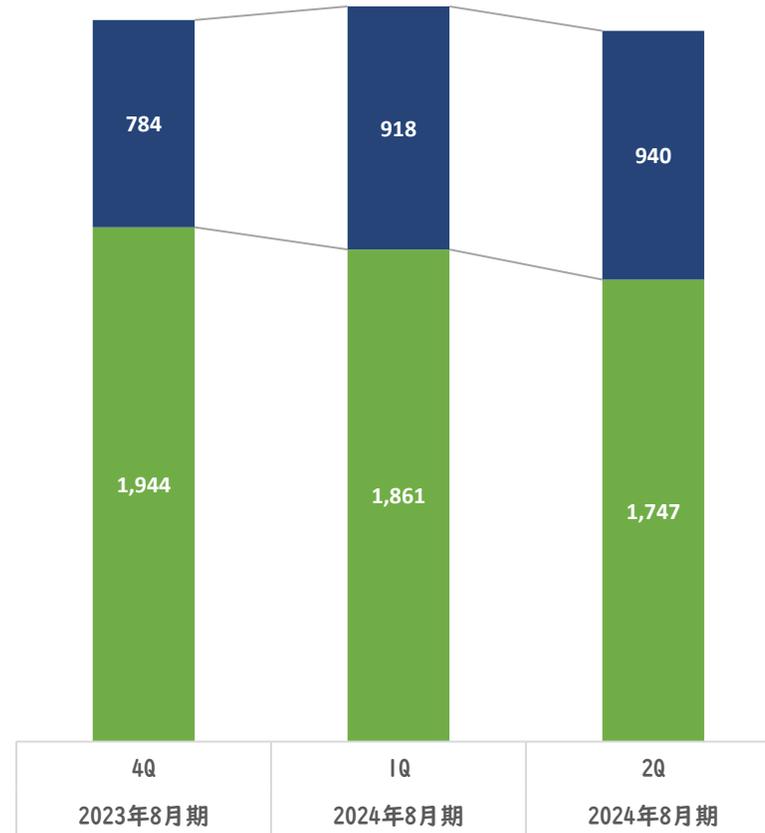
(1) 資産

(百万円)



(2) 負債及び純資産

(百万円)



【(1) 資産関係】

- ① 現金及び預金の増加
法人税及び消費税の還付による増加
- ② その他流動資産の減少
未収還付法人税及び消費税の減少

【(2) 負債及び純資産関係】

著しい増減はございません。

■ 投資その他の資産 ■ 無形固定資産 ■ 有形固定資産
■ その他流動資産 ■ 棚卸資産 ■ 売上債権及び契約資産
■ 現金及び預金

【連結キャッシュ・フロー計算書】2024年8月期第2四半期

(百万円)

	第17期2Q	第17期	第18期2Q
	2023年8月期2Q	2023年8月期	2024年8月期2Q
営業キャッシュ・フロー	▲ 346	▲ 687	▲ 121
投資キャッシュ・フロー	▲ 411	▲ 491	▲ 15
財務キャッシュ・フロー	40	491	205
手許資金残高	208	251	316

【2024年8月期第2四半期実績】

①営業キャッシュ・フロー

主な減少要因

- ・税金等調整前当期純損失 121百万円
- ・棚卸資産の増加 108百万円

主な増加要因

- ・法人税等の還付 66百万円
- ・減価償却費 28百万円

②投資キャッシュ・フロー

有形及び無形固定資産取得による支出

③財務キャッシュ・フロー

短期借入金の純増加205百万円

【2024年8月期通期資金繰りについて】

2024年8月期に資金不足が発生した際には、金融機関との当座貸越による調達を予定しております。

(2) セグメント別業績

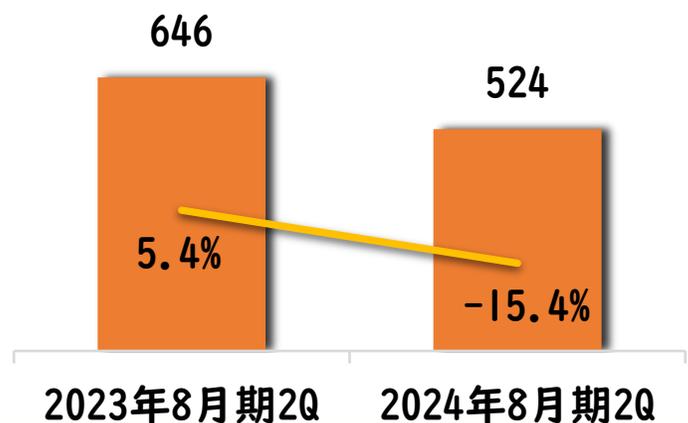


【セグメント別業績】

AsReader事業

(単位：百万円)

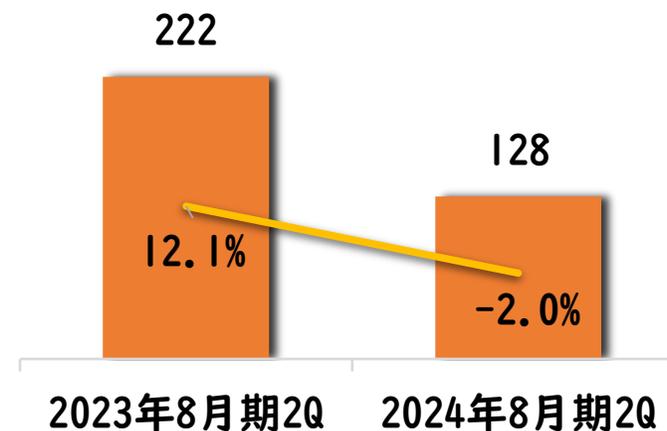
■売上高 — セグメント利益率



システムインテグレーション事業

(単位：百万円)

■売上高 — セグメント利益率



■AsReader事業

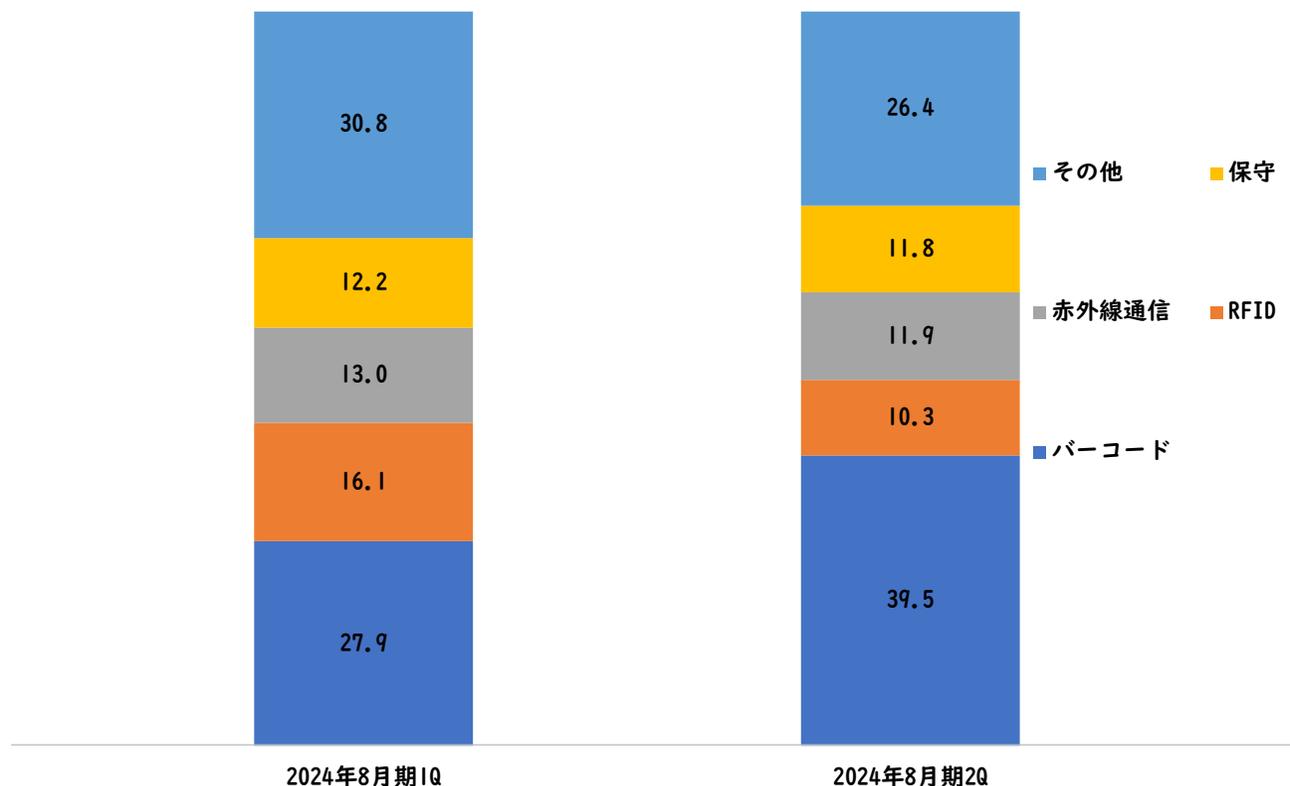
当期（2024年8月期第2四半期）においては、大型案件や特需案件が受注しきれなかったこともあり、売上高は前年同期比18.9%減の524百万円となりました。

■システムインテグレーション事業

当期（2024年8月期第2四半期）は不採算案件の発生に伴い、セグメント利益率が▲2.0%となりました。

【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



■製品種類別の販売構成推移

2024年8月期第2四半期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2024年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

また、自動販売機での赤外線通信リーダーは、当社がシェアを押しえつつあり、これから伸びてくるものと予想しております。

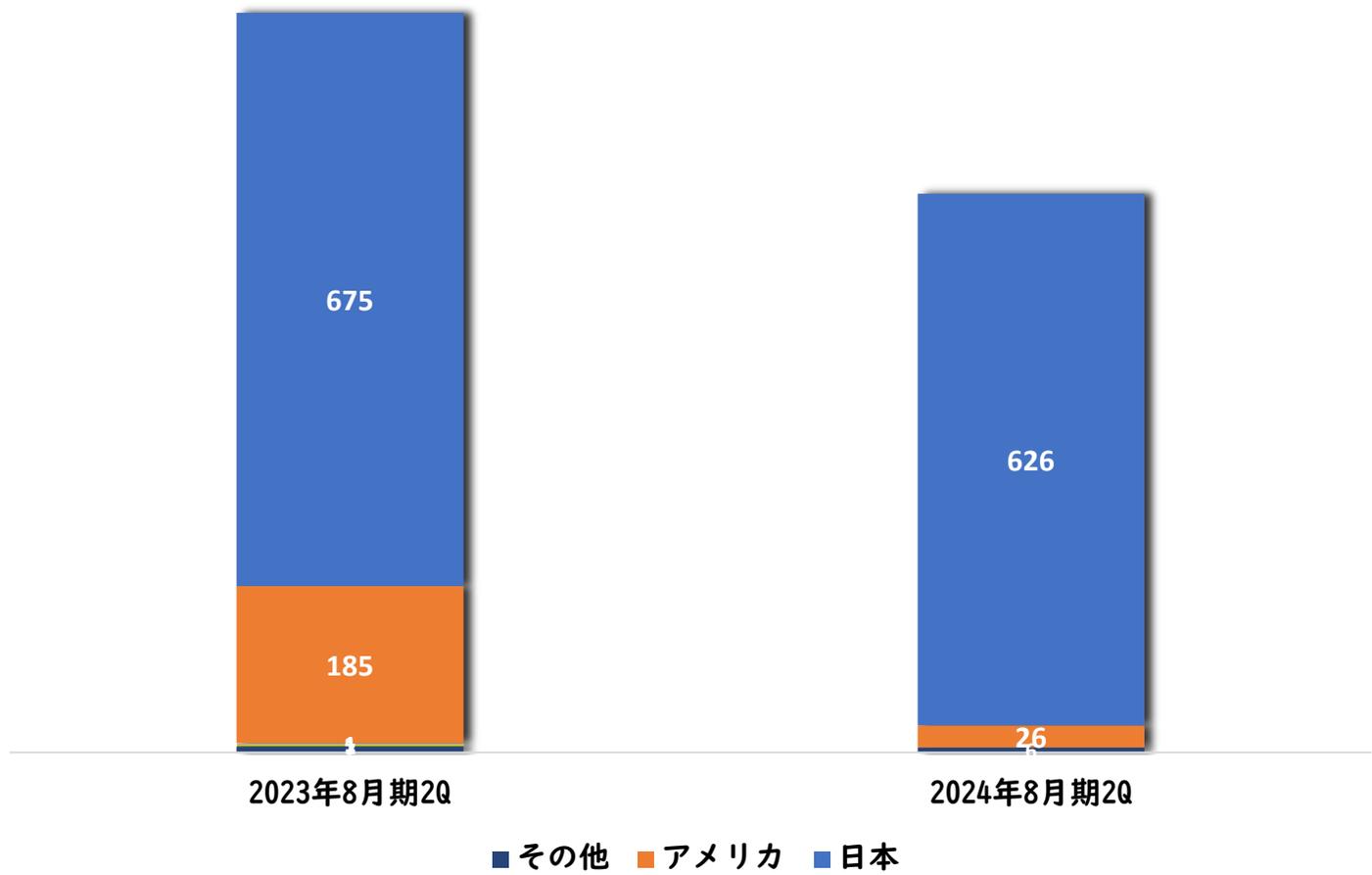
店舗系企業がコロナ開けから業績回復してくるにより、世界的にRFID案件や画像認識案件なども増加すると考えております。子会社「自動レジ研究所」で実証実験を行っている画像認識技術のサービスを新製品・サービスとして提供してまいります。

(3) 地域別業績



【地域別売上高】

(単位：百万円)



■日本

様々な案件の商談は進んでおりますが、当期（2024年8月期）第2四半期累計期間において受注しきれず、前年同期比▲7.4%となりました。

■アメリカ

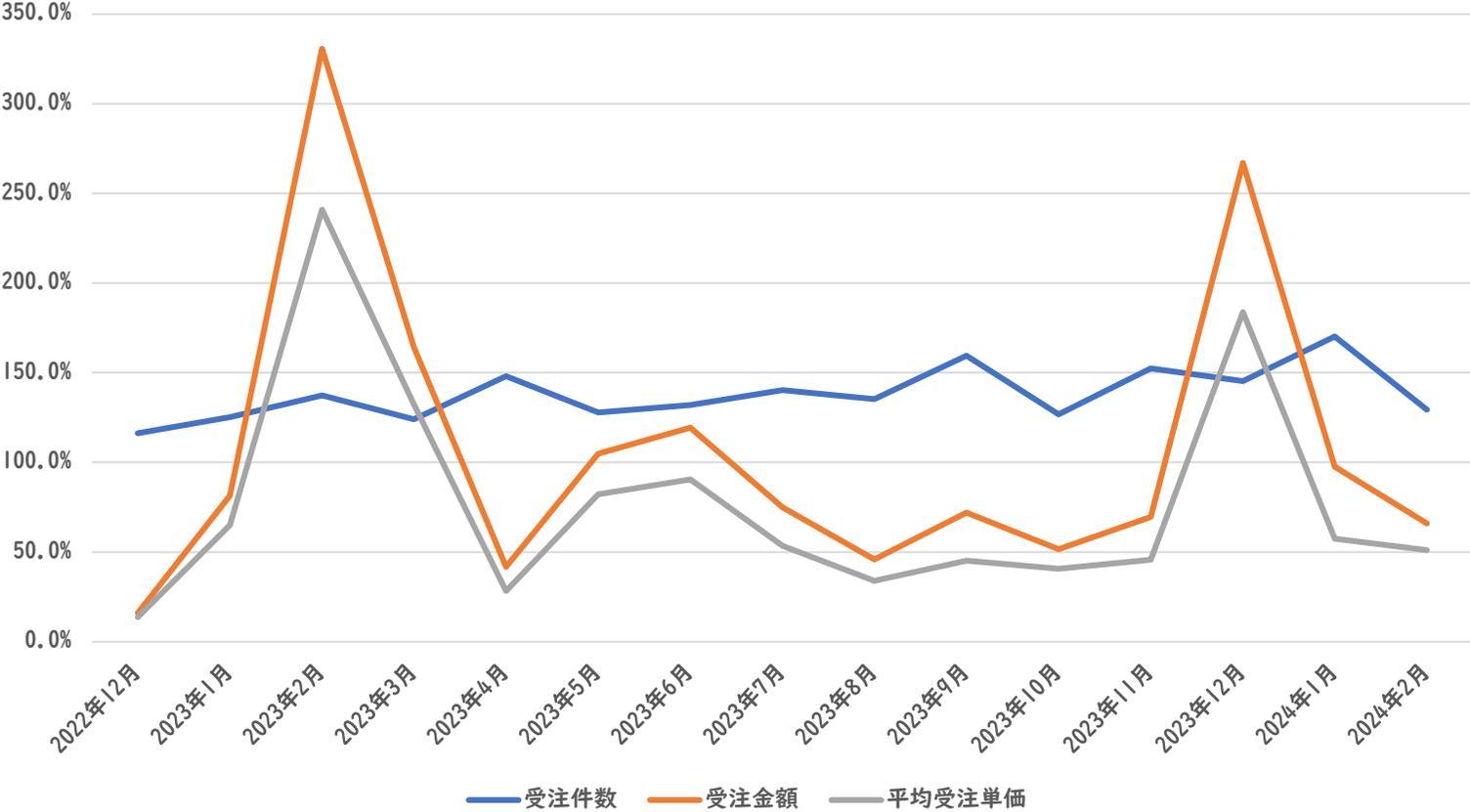
様々な案件の商談は進んでおりますが、当期（2024年8月期）第2四半期累計期間において受注しきれず、前年同期比▲85.9%となりました。

(注) アメリカ、欧州、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

(4) KPI



【受注関連情報（前年比率）】



【総括】

2023年9月～2024年2月については、受注件数は増加したものの、受注金額と平均受注単価は減少となっており2023年10月に発表した第2四半期業績予想に対しては未達の結果となりました。第2四半期累計期間において受注を想定していた大型案件の獲得が叶わなかったことが原因と考えております。今後は既存製品を伸ばしていくと共に、子会社「自動レジ研究所」において実証実験を行っている店舗系システムの受注も進めていきたいと考えております。

【受注件数】

期間中、前年同月比を上回る受注獲得を実現しており、結果、2024年8月期第2四半期時点においては前年比増加で推移しております。

【受注金額、平均受注単価】

2023年12月に大型案件の受注があり12月は前年比増加となったものの、他の月が前年比減少の結果となり、2024年8月期2四半期時点においては前年比減少で推移しております。

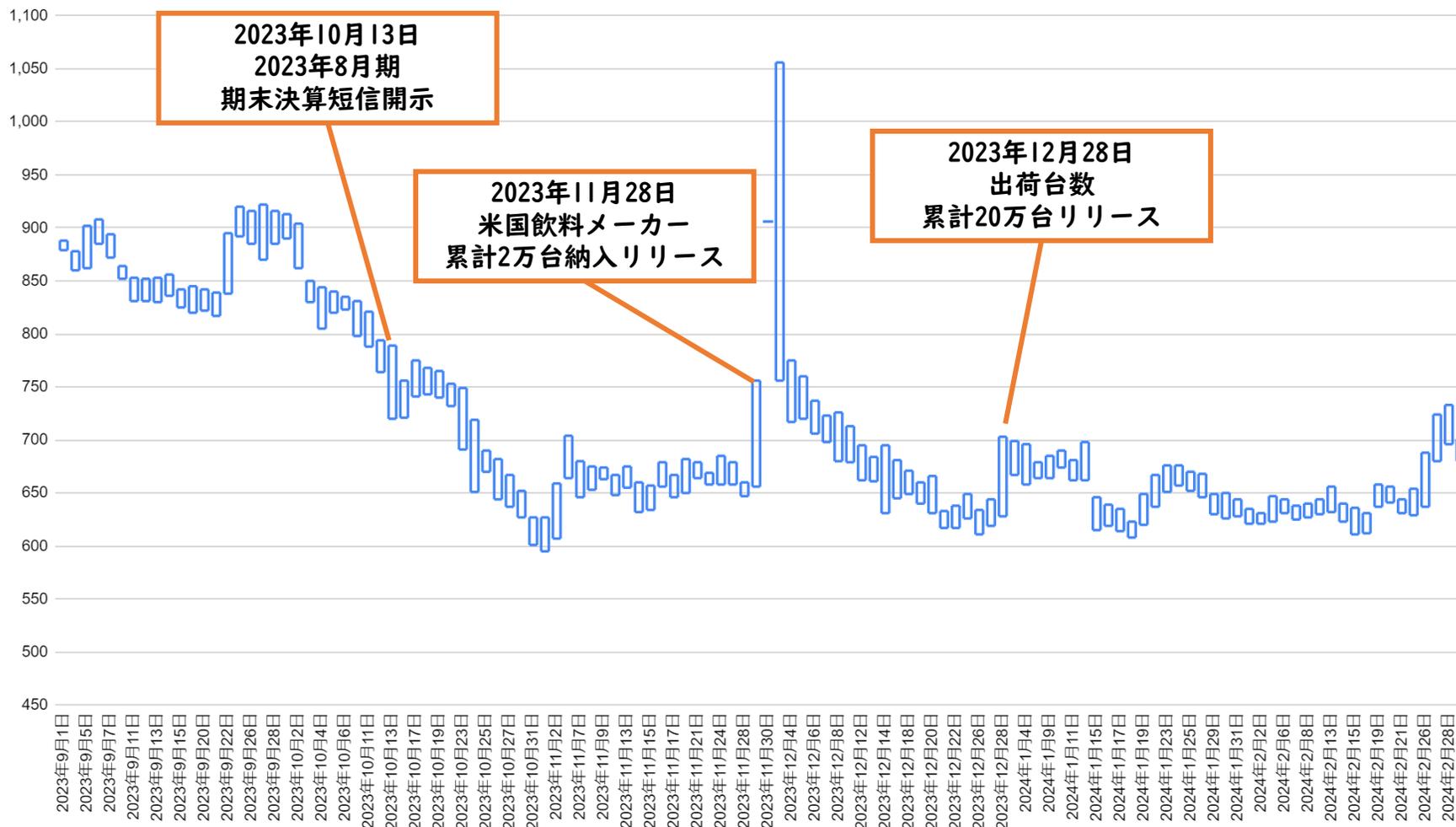
(5) 株式関係



【大株主の状況】

株主名	2023年8月31日時点		2024年2月29日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.0%	3,200,000	45.0%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.9%	278,300	3.9%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.3%	162,000	2.3%	代表取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.7%	120,000	1.7%	ベンチャーキャピタル
個人株主様	116,000	1.6%	112,000	1.6%	個人投資家
株式会社SBI証券	119,230	1.7%	91,630	1.3%	証券会社
JPMorgan証券株式会社			88,600	1.3%	証券会社
薛文宝	60,000	0.8%	60,000	0.8%	執行役員
個人株主様	51,000	0.7%	51,000	0.7%	個人投資家
株式会社キャスト			43,500	0.6%	事業会社
楽天証券株式会社	100,100	1.4%			証券会社
野村証券株式会社	43,000	0.6%			証券会社
その他	2,859,770	40.2%	2,902,370	40.8%	2023年8月31日現在 5,862名 2024年2月29日現在 5,409名
合計	7,109,400	100.0%	7,109,400	100.0%	—

【株価推移】



・当期第2四半期累計期間
(2023年9月1日～2024年2月29日)の株価推移を掲載しております。

・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。

最高株価	911円
最低株価	602円

・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

第三部： その他企業情報



(1) 業績予想修正



【損益状況】 2024年8月期通期業績予想修正

(百万円)

	2023年10月13日発表 2024年8月期 通期業績予想	2024年4月12日発表 2024年8月期 通期業績予想	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,645	1,813	▲ 831	▲31.4%
営業利益	100	▲ 389	▲ 490	—
経常利益	96	▲ 366	▲ 463	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	▲ 377	▲ 444	—

■業績予想修正要因

2023年10月13日公表の連結業績予想に対して大幅に悪化する見込みとなりました。これは、2023年10月13日公表の連結業績予想策定時に見込んでいた米国市場における小売業界、製造業界、物流業界を中心に新規大型案件の顧客との交渉・AsReaderのデモ期間が想定よりも長期化していることに伴い獲得の進捗が遅れたことにより、売上高が505百万円減少、営業利益が133百万円悪化する見通し、日本国内市場において獲得を見込んでいた小売業界、物流業界向けの大型案件の顧客導入スケジュールの延期や商談長期化に伴う進捗の遅れ、原材料価格の高騰による商品原価の増加により売上高が220百万円減少、営業利益が173百万円の悪化、期末日時点における棚卸資産に対して滞留することが見込まれる製品に対する商品評価損の計上が100百万円発生、国内子会社の飲食店において、当初の見込みに対して来店者数の減少、運営コストの増加による売上、利益が悪化、営業利益が30百万円悪化する見通しとなりました。これらの状況から、通期の業績予想を下方修正することにいたしました。

■今後の展開

当社グループは、今後も積極的なビジネスを展開していきます。米国市場においては、現在進行中の長期交渉を成果に結び付け、売上と利益の向上を図ります。また、日本国内市場では、立ち上げが遅れが生じている新規事業や新製品開発を迅速に進めると同時に、現在、交渉を進めているサービス業界、小売業界案件の獲得を通じて売上と利益を向上させる取り組みを強化します。これにより、両市場において当社の成長と価値の創造を継続していきます。

(2) 直近のリリース情報



【展示会出展】全米小売業協会「NRF2024:Retail's Big Show」に出展

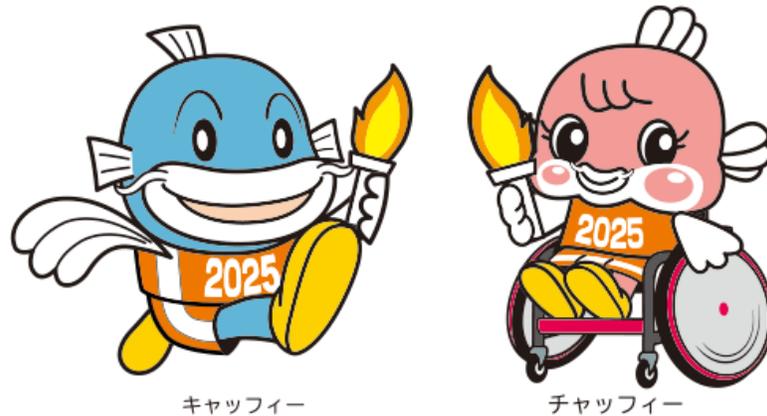
NRFは、小売や外食、流通に関する技術が一堂に会した展示会で、小売とITを融合したリテール業界の展示会では世界最大級のものです。世界のリーディング企業から、今後注目すべきスタートアップ企業まで、多くの展示ブースが設けられ、小売企業向けの最新テクノロジーが展示されたほか、さまざまなセッションが催され、大盛況のうちに開催されました。

ブースではリテール向けに、当社ブランド「AsReader」のRFID／バーコード（ハードウェア・ソフトウェア）リーダーを中心に展示しました。

今回特にご来場者様から大変ご好評だったのは、2023年12月に発表したばかりの、スマートフォンのカメラでバーコードを読み取るソフトデコーダー「AsReader CameraX」でした。アテンドスタッフからの「高速の読み取りができます！」という呼びかけに、たくさんのお客様が足を止め、その読み取り性能をご評価くださいました。



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」オフィシャルサプライヤー



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に協賛し、共に滋賀を盛り立てるべく、物流拠点に所有する大型デジタルサイネージ「シガマド」の広告枠を提供。オフィシャルサプライヤーに認定されました。

アスタリスクが高校生の探究学習に協力！

「モノ認識」技術の利用可能性について、高校生からの取材を受けました

高校生の探究学習で、保育現場における人手不足の課題解決に焦点を当てた高校一年生のあるグループから取材の申込がありました。RFIDや画像認識といった自動認識技術を用いた解決を検討する中で、自動認識技術に関する知識や当該技術を用いてできることをヒヤリングするために来社いただき、当社の技術担当社員より説明させていただきました。

事前に保育現場での問題点を調査し、検討したソリューションは、こういった技術で実現ができるかといった具体的な質問から、そもそもRFIDとは？など初歩的な質問までさまざまな質問をいただき、あっという間の1時間でした。



【導入事例】ブックオフコーポレーション「AsReader」を導入

〔在庫管理〕ハンディターミナルからiPhoneへ刷新することで業務効率大幅UP！

「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」をミッションとするブックオフグループの中核として、本やCD、DVD、ゲームソフトなどのリユース事業を手掛けるブックオフコーポレーション様。

近年ではアパレルやトレーディングカード・ホビーなどその裾野を広げ、サステナビリティな循環型社会への貢献を目指していらっしゃいます。

大量の商品を扱うビジネス故に、在庫管理のスマート化は重要課題。
今回のリプレイスにあたり、それまでのハンディを使った管理から、「iOS」を使ったマルチデバイス管理へと舵を切り、iPhoneの機能を活用した店舗業務や、弊社AsReaderと接続しての棚卸しなど、業務効率の大幅な改善に成功されました。



ラスベガスにて開催された「RFID Journal LIVE! 2024」に出展しました

2024年4月9日より 4月11日まで、アメリカ ネバダ州ラスベガスで開催されたRFIDおよびその関連技術に特化した世界最大級の展示会「RFID Journal LIVE! 2024」に、当社グループのアメリカ現地法人であるAsReader, Inc.が出展しました。

この展示会に当社グループのアメリカの現地法人であるAsReader, Inc.が出展。定置型の「DESKTOP-type(ASR-P35U)」や「BOX-Type(ASR-P37U)」といった、今年発表したRFIDリーダーライターを中心に、高所での読み取りが可能になる円偏波が特長の「PADDLE-Type(ASR-P252B)」や、PT Nextと共同で開発したRFIDリーダーとアンテナが内蔵された「スマート・ジュエリー・トレイ」、読み取り距離10m 以上、直線偏波のRFIDリーダーライター「GUN-Type (ASR-L251G)」などを展示し、受容を受けて、幅広く進化するAsReaderを認知していただきました。



(3) 直近の展示会出展予定



3. (3) 直近の展示会出展予定

【国内】

第7回 ものづくりAI/IoT展（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年6月19日（水）～21日（金）

対象：製造系

国際モダンホスピタルショウ2024（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年7月11日（水）～12日（金）

対象：医療系

国際物流総合展2024（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年9月10日（火）～13日（金）

対象：物流系

【海外】

「RETAIL TECHNOLOGY SHOW」（イギリス・ロンドン）

開催期間：2024年4月24日（水）～ 4月25日（木）

対象：小売・流通系



第四部： AsReader Conference 2024 開催のお知らせ



AsReader Conference 2024: IoTビジネスの未来を切り拓くセミナー

当社では、5月24日（金）に日経ホールにて、業界をリードする大型セミナー『AsReader Conference 2024（略称：AC2024）』を開催いたします。このセミナーでは、事業用IoTを活性化させる当社の主力製品『AsReader（アズリーダー）』の商品開発や知的財産戦略を含む、ビジネスを変革する方法に焦点を当てます。さらに、日本を代表する大手企業の導入事例や最新のAsReader製品の発表も行います。

毎回多くの企業が参加する当セミナーでは、当社の成功事例や最新製品のご紹介を行います。

当社及び当社製品の理解を深めていただき、当社の認知度向上を図り、参加企業の業務効率化に貢献することを目指しています。



【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I R に関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

【I R お問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

